

平成30年度 第12回豊能町教育委員会会議（2月定例会）会議録

日時：平成31年2月25日（月） 午前9時30分開会

場所：豊能町役場2階 大会議室

出席者：	教育長	新谷 芳宏
	教育委員	宮崎 純光（教育長職務代理）
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
	教育委員	岸本 恵子
	教育委員	坂口 敏子
事務局：	教育次長	南 正好
	教育総務課課長	入江 太志
	教育支援課課長	内野 慎也
	教育支援課主幹兼子ども支援室長	川西 弥生
	生涯学習課課長	中谷 匠
	教育総務課課長補佐	中谷 康彦
	教育総務課主査	西田 純夫

傍聴者： 0名

会議次第

○承認事項

第5号承認 平成30年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について

○その他

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

○各課・室の報告

開会 午前9時30

（議長）

みなさん、おはようございます。

それでは、会議をはじめます。

ただいまの出席委員は6名です。過半数に達していますので、ただいまから平成30年度第12回豊能町教育委員会会議（2月定例会）を開会いたします。

会議録署名人を教育長職務代理の宮崎委員にお願いいたします。

本日は、承認事項1件、その他1件を議題とさせていただきます。

第5号承認は個人情報を取り扱うため、豊能町教育委員会会議規則第5条の規定により秘密会として審議したいと思いますがいかがでしょうか。

＝ 意見集約 ＝
(委員、異議なし)

(議 長)

全員異議なしと認めますので、第5号承認は、秘密会とします。

-----【非公開部分開始】-----

非公開部分

-----【非公開部分終了】-----

(議 長)

会議を再開いたします。

次に、その他「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」でございます。

事務局より報告をお願いします。

(事務局)

おはようございます。教育支援課の内野でございます。

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果についての概要をまとめさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

事前にメールで送付しておりましたが、本日説明させていただきますのは、下線部や○印を入れている部分についてでございます。

まず全体的にですが大阪府下で小学校、中学校ともに集計をしたところ、全体で5位の成績でした。昨年度は確か30位くらいで、その前が5位で、学年によって大きく変動があるということで、ここ数年は推移しております。ここ数年の傾向としては、女子の体力が伸びてきているのと、また授業の中でも、話し合い活動、助け合って技量を伸ばしていくところの子どもたちの自己評価が高くなってきている傾向があります。

調査事項ですが、例年通り小学校5年生、中学校2年生の男女で調査を行いました。項目については、体力・運動能力、生徒質問紙・学校質問紙、クロス集計からみえること、今後の取組みという調査でした。

2頁目でございます。体力・運動能力についてですが、今年度の子どもの状況を見てみると、瞬発力はあるけれども、様々な機会を通した持久力を養う取組みが必要ではないかとの結果となりました。小学校5年生でいいますと、男女とも握力・反復横跳び・50m走・ソフトボール投げで国・府を上回っております。また女子は立ち幅跳びでも国・府を上回った。女子は体力合計点で、国・府を上回ったということでございます。

3頁目の下、中学校2年生についてですが、男女とも握力・状態起こし・20mシャトルラン・立ち幅跳びで国・府を上回った。また女子は反復横跳びでも国・府を上回った。男女と

も体力合計点で国・府を上回った。特に課題にある種目は、男女ともに持久走であった。また男子はハンドボール投げ、女子は長座体前屈、50m走でも国・府を下回ったという結果でございます。

4頁目は資料になっておりまして、5頁目に移ります。児童・生徒の質問紙のところでの結果でございます。「運動は大切」「運動が好き」「体育が楽しい」と答えた児童・生徒の割合は高いが、運動する時間は短い（特に休日）。ここところが、ここ何年間か変わりません。変わってきているのは、好きとか楽しいという子どもは増えてきているのですけれども、運動する時間、特に休日ですが全体的に少ない。ここも二極化してきておりまして、学校外での運動活動をする子どもたちもいるのですが、そうでない子どもたちもたくさんいるということで、この項目はいつも全体的に「短い」との結果になっております。ここで注目したいのが、昨年度同様小学生5年生の「嫌い」の割合が0%だったということで、先ほども述べましたが、女子の運動能力が上がってきているのもそうなのですが、今年度は男子も含めて小学生5年生の方は「嫌い」の割合が0%だったということでデータが出ておりました。

6頁にまいります。「保健体育の授業は楽しい」と回答している割合で、「楽しい」「やや楽しい」の割合が昨年度に比べ大幅に増加した。△のところになりますが、それに対し、小学生5年生男子と中学校2年生男子の「あまり楽しくない」「楽しくない」の割合は、全国平均より高く、特に中学校2年生男子では、昨年度の割合に比べて「楽しい」が10%ほど減少し、「楽しくない」が5.5%増加したという結果でした。

7頁です。「体育の授業について」です。小学校5年生男子の「助け合う活動が行われている」「話し合う活動が行われている」の割合が全国平均よりも高い。中学生2年生女子の「振り返る活動が行われている」「助け合う活動が行われている」「話し合う活動が行われている」の割合が全国より高く、特に「助け合う活動が行われている」は15%も上回った。ただ、全体的に「保健体育授業の目標が示されている」割合が全国平均より低い。この辺りは先生方も随分意識はしていますが、児童・生徒たちが目標を明確に持ちながら授業を受けているかというところまで落とし込めていないのかと思っております。

「健康三原則」に関してというところで、「健康に運動・食事・睡眠が大切である」という意識は、全国平均と比べて小学校5年生男子と中学生2年生男子女子は比較的高い。特に中学生2年生女子については全国平均を大幅に上回った。小学生5年生女子の意識が、全国平均と比べて低い。ここは、健康については意識が低いという結果になっております。

「1週間の総運動時間の分布から見えること」ということで、先ほどもお話ししましたが、1週間の総運動時間が420分以上（1日平均60分）の児童生徒の割合が、男子・女子ともに国・府と比べて低いということ。これは週末、特にということ。先ほどのものにつながります。

9頁、真ん中あたりです。「放課後や休日に運動が必要か」という問いです。小学校では、男女ともに平日・休日の運動時間が全国・府ともに平均を大きく下回っています。この原因の一つとして、ここ何年か言われている傾向かと思いますが、やはりテレビ、ビデオ、DVDの視聴時間が特に小学校で多いです。ここも随分、学校で取り組みを進めてはいただいておりますが、まだまだ課題があります。勉強時間についても、この時間が長いことにより家での勉強時間が短くなるか、運動についても関連性があると思っております。一番下の方です。小学生では男子・女子ともに「4時間以上」が全国・府ともに平均と比べて高かった。「4時間以上」の集団は、それ以外の集団と比べ、体力合計点が低い傾向が見られた。ここも数年、

同じような傾向で推移しています。

10頁です。「家の人との関わりで運動やスポーツに対する意識が変わる」というのも本町の子どもたちの実態に大きく関わっているところです。この関わりが、学年ごとに大きく変動していくという連動性もあるかと思っております。「オリンピックやパラリンピックに関心がある」というのも、「関心をもっている」という割合も少し増えているかと思えます。ここも、そのお子さんの環境、ご家族の関心について連動があるのかと感じています。

12頁です。「友達同士での教え合い」、「授業中の個別指導」「授業中に自分で工夫して練習する機会」「先生や友達のまね」と答える児童生徒は、総合評価上位層の児童生徒も多く、集団指導の中での個別指導が、効果があると考えられます。授業外の時間に練習する時間や場の設定やICT機器の活用など更に進めて行く必要があるかを感じております。「できるようになったことがない」と感じている児童生徒が、総合評価に関わらず若干名だが存在するという事ですので、その辺りの関心意欲についても更に伸ばせるような指導が必要と感じています。

今後の取組みとして、先日岬町の研修会があり、府下の体力の調査について一番成績が良いと聞いており、そこでの取組みも本町でも取り入れられないかと考えております。運動の機会と場の確保ということで、運動遊びを奨励しつつ、インターバルトレーニングのような「緩走」と「急走」の反復が遊びの中で取り入れられるような感じで、児童会生徒会の取組みや地域での取組みというところと併せて、取り入れていけないかと思っています。子どもたちが主体的に取り組む授業改善のところでは、ICTの活用を更に推進していき、動画や静止画を使って動きを比較することで、ゴールイメージを持たせ、課題を明確にするという取組みを進めてまいりたいと思います。それと保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校連携の一層の推進、接続の推進。またずっと課題になっているDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの視聴時間の更なる管理、給食指導（食育）と関連させた「運動の習慣化」と「生活習慣・食習慣の確立」というものを学校とともに確認をしながら、できるところから進めて行きたいと思っております。

簡単ですが、以上概要の説明とさせていただきます。

(議長)

ありがとうございました。

では、この件につきましての質疑はございますか。

(委員)

中学生男子の「楽しくない」という割合が10%に至っていますが、授業内容は去年とおなじだったのでしょうか。それと先生は代わったのでしょうか。

(事務局)

指導の中身については、特に大きく変わっている様子はありませんでした。逆に話し合い活動とか、助け合いながらする活動については意識をしてやられたと報告を受けております。なぜそうなったのかにつきましては、推測ですが、集団の質、これまでの運動以外も含んだの活動の中で課題があったのかなど、担当から報告を受けております。そのような中でも、子どもたちが楽しくできる工夫はしたのですが、結果的には結びつかなかったというこ

とになりました。

(委員)

今回は、大阪府下で5位ということで、去年は30位ということでしたが、この変化には何かあったのでしょうか。

(事務局)

先ほどからの説明の中で幾つか紹介させていただいておりましたが、学年によって違うところもありますが、ご家庭で身体を動かすことについて前向きにとらえられている中で生活している子どもと、そうでない子どもとで、もちろん本人の資質もありますが、「やってみよう」とか「チャレンジしてみよう」というところが、学年ごとに違うところが大きな背景としてあるのかと思っています。学校内では、毎年同じような指導はしているのですが、やはり集団の質とか、子どもの発達の問題であるとかがありますので、個や集団に応じた指導に切り替え、子どもたちに合ったものが求められていると思っています。

(委員)

この前の岬町の研修会で、体力測定の準備期間が必要であるとおっしゃられてました。そういうことも参考にされてはと思いました。

(委員)

数値が年によってすごく変動するのは、母数がすごく減ってきているので、個々の集団のカラーですごく左右されてしまうことが原因だと思います。岬町もすごく少ない中でやっていて、学ぶべきところは学んで行けば良いと思います。

先日の働き方改革の研修の中で、今まで大事だと思ってやってきたことを捨てて行かなければならないなというように考えたときに、数字を出して比較していきながらすることは大事だと思うのですが、これだけ母数が減ってきた中で、毎年するべきものなのかということも考えなければならぬと思いつつ聞いていました。体力測定は子どもたちのキッカケなのでやった方が良くと思います。

それと7頁のところ、「何のために授業をやっているのか」、「ゴールが何なのか」というところを、体育だけの問題でなく、子どもたちに伝えることが大切だと思います。先生たちもどんな感じでやっていけば子どもたちに提示できるのかがすごく難しいと思うので、教育委員会で先進的な取り組みをされているところがあれば学校にお伝えいただくとか、そういったことで先生方もヒントを得られるのではないかと思います。目標を示すことはできるのですが、それを子どもたちに自覚させるのは非常に難しいと思います。アイデアがあれば現場に伝えて欲しいと思います。

(事務局)

働き方改革で、今までやっていたものを削減していくというお言葉、また毎年必要なのかということも含めて検討していかなければならないと思っております。目標の設定については、昨今は「焦点化」ということを更に授業の中で行っております。1授業で一つの目標を子どもたちに明示をして、それについて活動した後にそれを更に振り返る時間を設けて、最

初に示した目標に対してどうだったのかということを繰り返し指導しています。その「焦点化」は非常に難しく、「子どもたちが何を学んでいるのか」、また「自分は何を身に付けたのか」を教師も子どもたちにも分かり易い授業づくりが求められていて、取り組まれているところもありますので、先進的な事例もお示ししたいと思います。

(委員)

大阪府下で小学校、中学校とも5位ですね。この5位というのは周知しているのでしょうか。この資料を見て、5位ということが分からないので、「大阪で5位」というのが分かればすごく良いなと思っています。ずっと言われていますが、子どもたちは成功体験が少ないと思います。なので、「君たちは凄いぞ」ということを是非周知していただきたいです。

(事務局)

委員のおっしゃられた活動というのは、我々中々出来ていないと改めて思います。子どもたちの良かったところを教育委員会から子どもたちに発信するのも良いことだと思いがら聞かせていただいたので、何らかの形で子どもたちに伝えられるよう考えてみたいと思います。

(委員)

12頁のところ、運動の機会と場の確保のところ、運動遊びの奨励というところですが、前からずっと思っています体幹を鍛えるということで、「ずっと座ってられる→授業(話)が聞ける→学力が上がる」、こういう相乗効果を狙った継続した体操をしていただけたら良いなと思っています。それから委員がおっしゃられた目的を子どもに示すことですが、「これをやると、こうなるよ」とか良いイメージを持たせることが町全体の学校で少しずつ継続できたら良いと思います。具体的に少しずつやってもらえればと思っています。

(事務局)

運動遊びのところ、体幹を鍛えるのかもそうなのですが、先日フィンランドで運動遊びを奨励しているという記事を見て、もちろん体力を育てることも重要視しているのですけれども、主体的な活動や自主性を伸ばすということも目的において取り組んでいるのを見ました。身体に良いことをやることで、自分の体にどういう影響が出てくるのかということも、こちらからも発信したり、指導したり、参考事例として提示したりだとかを、いまお話を聞いて思いましたので検討していきたいと思っています。

(議長)

他に何かございますか。無いようですので、以上で「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」は終わります。

(議長)

次に、前回会議以降の各課・室の報告に移ります。

その前に先日、2回教育委員の研修会がございましたので、その報告からさせていただきますと思います。

1月29日の町村教育委員会連絡協議会の冬季研修会が岬町で開かれまして、「学力と体力を高める実践的な取り組みについて」ということで、和歌山大学の本山教授に講演をしていただきました。2名の委員が行っていただいております。ご報告をお願いします。

(委員)

[参加委員より報告を受ける] (報告者2名)

- ・体力調査・・・岬町は府下最低の結果から1番になった。
- ・先生の意識改革から取り組みがはじまった。保幼小が連携して取り組んで行く。
- ・ゴールデンエイジの話。
- ・小学生の体力向上は遊び運動、特に鬼ごっこが良い。心配能力向上も望める。
- ・生活習慣(運動・栄養・睡眠)の件
- ・体育…表現する、他者に伝える力を養う科目。チームでの教育が大切。
- ・教員の質によって、子どもたちの授業の楽しさも変わってくる。一部の先生の研修では意味がない。全教員で研修に参加して取り組んで行って欲しい。
- ・運動遊び…楽しくないと長く続かない。(シャトルランの話)
- ・校庭の芝生化…校庭に出て遊ぶようになった。
- ・体力・運動能力向上は、ケガの減少につながる。

(議長)

ありがとうございました。

2月8日に豊能地区教育委員会研修会が箕面市で開催されました。タイトルが「学校における働き方改革」で学校の幸せ研究所・澤田さんの講演がありました。感想等述べていただけたらと思います。

(委員)

[参加委員報告を受ける] (報告者2名)

- ・ワークショップ形式での研修
- ・教員の現状の話(教員の労働時間には、授業の準備時間は確保されていない、業務範囲の拡大、休職者の伸び、多忙による「ほめる」ことが減少等)
- ・担任制廃止、教員への評価を変える必要性の話等
- ・子どもたちへは「教え込むこと」より「学び方を学ばせる」ことが必要。
- ・慣例を排除する意識
- ・「学び方を育てる」「教えることを手放す」
…生徒自らの学びを生み、教員の働き方改革へつながる。
説明したがるの教師の性を捨てる。→新しい学校の姿へ

(議長)

ありがとうございました。

来年も様々な研修会が開催されますので、よろしくをお願いします。
では、事務局より前回会議以降の各課・室の報告を順次求めます。

(事務局)

教育総務課

- ・就学援助入学前支給の申請、認定状況について

教育支援課

- ・1/31 中学生サミットの件
- ・小、中学校への校務支援システム導入について
- ・平成31年度の漢検英検の実施について

子ども支援室

- ・インフルエンザの罹患状況について
- ・保育参観について

生涯学習課

- ・3月の事業予定について

(次 長)

- ・来年度の事務局体制について
3課1室→4課（子ども支援室→子ども育成課）
- ・町機構改革
上下水道部…大阪府広域企業団に統合により水道事業部門が廃止。
下水道部門→建設環境部へ。建設環境部3課→4課体制へ。
- ・予算の説明について
例年報告していますが、3/3に町長選があり投資的な予算は決まっていない状況。

(議 長)

各課・室の報告について、ご意見、ご質問等はいかがでしょう。

(委 員)

校務支援システムとは、どういうものなのか教えてください。

(事務局)

校務支援システムにつきましては、大きく分けまして、学校間等の連絡ができるグループウェア、成績管理（出席簿・通知表・指導要録等が連動）、健康管理があり、働き方改革につながるものです。毎日システムをさわることで先生方のICT機器活用の向上を期待しています。

(議 長)

よろしいでしょうか。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

次回、3月の豊能町教育委員会会議の日程についてですが、前回はまだ議会の日程が決ま
っていませんでしたので、調整できておりませんでした。従いまして本日決めさせていただ
きたいと思います。

前回の会議で、3月22日（金）が皆さん、ご都合が良かったと聞いておりましたので、そ
の日の午後1時からお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

＝ 全員了承 ＝

では、3月22日（金）午後1時から3月定例会をさせていただきます。

続きまして、4月の教育委員会会議についても日程調整をさせていただきたいと思
います。

4月は、23日（火）、24日（水）、25日（木）のいずれかの日で、午前9時30分
からの日程で開催したいと考えています。

委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

＝ 日程調整 ＝

それでは4月定例会は、4月24日（水）午前9時30分からとさせていただきます。

以上をもちまして、平成30年度第12回豊能町教育委員会会議（2月定例会）を閉会
いたします。

本日は、お疲れ様でした。ありがとうございました。

閉会 午前10時40分